

令和元年六月射水市議会定例会

追加提案理由説明書

ただいま、永年勤続表彰の伝達を受けられた小島議員におかれましては、誠におめでとうございます。

これまでの永年にわたるご活躍とご功績に対し、心から敬意を表しますとともに、今後とも健康に留意され、市民の幸せの実現と射水市勢の伸展のために、一層、活躍されますことをご期待申し上げます。

それでは、本日追加提出いたしました議案一件について、ご説明を申し上げます。

議案第五十九号 令和元年度射水市一般会計補正予算第二号は、歳入歳出にそれぞれ一千七百四十八万六千円を追加し、予算総額を四百三十三億七千八百八十二万五千円とするものであります。

今回の補正につきましては、去る四月に総務省において、定型作業をソフトウェア型のロボットが自動処理するRPA等を複数の自治体が共同活用することによる業務の効率化等を実証するモデル事業「自治体行政スマートプロジェクト事業」の募集があり、富山県内で基幹系自治体クラウドを利用する九市町村で提案したところ、このたび、国の委託事業として採択されました。このことから、本市が代表市として共同実施する経費を計上し、

九市町村の事務処理を標準化するとともに、RPAを共同で活用することにより、業務の効率化、住民サービスの維持向上及び働き方改革の実現を目指し、実証を行うものであります。

以上が本日提出いたしました案件の概要であります。

何とぞ、慎重審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願いいたします。